

平成29年度 第2回 高等学校入学者選抜審議会

日時 平成29年11月6日(月)

午前10時から正午まで

場所 行政庁舎11階 第二会議室

次 第

1 開 会

2 審 議

- (1) 平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について
- (2) 平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について

3 答 申

4 報 告

- (1) 平成30年度宮城県公立高等学校入学者選抜について
- (2) 新しい県立高校入学者選抜制度(案)について

5 その他

6 閉 会

高等学校入学者選抜審議会条例

(昭和28年3月28日条例第40号)

最終改正 平成24年12月条例第71号

第1条 教育委員会の諮問に応じ、高等学校の通学区域の検討、入学者の選抜の方法及びその実施並びに学力検査問題の作成について調査審議するため、高等学校入学者選抜審議会（以下「審議会」という。）を置く。

第2条 審議会は、30人以内の委員で組織する。

2 審議会に、専門の事項を調査研究させるため、専門委員を置く。

第3条 委員及び専門委員は、学校の教職員、総合教育センターの職員、教育庁の職員及び学識経験者のうちから教育委員会が任命又は委嘱する。

第4条 委員の任期は二年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育委員会が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、任期中においても当該委員を解職することができる。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査研究が終了したときは、退任するものとする。

第5条 審議会に、委員長及び副委員長各一人を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、会務を掌理する。

3 副委員長は、委員長に事故あるとき、その職務を代行する。

第6条 審議会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

第7条 この条例に定めるものを除く外、審議会の議事の手続その他審議会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議にはかつて定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年10月11日条例第27号抄）

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年12月20日条例第71号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

第2回高等学校入学者選抜審議会 名簿

(審議会委員)

No.	氏名	現職	備考
1	柴山 直	東北大学大学院教育学研究科教授	
2	田端 健人	宮城教育大学教育学部教授	
3	坪田 益美	東北学院大学教養学部准教授	
4	川嶋 輝彦	仙台経済同友会事務局長	
5	加藤 智子	宮城県高等学校PTA連合会副会長	
6	村上 裕子	宮城県PTA連合会副会長	
7	伊藤 宣子	聖ウルスラ学院英智高等学校校長	
8	玉川 昌子	亘理町立吉田中学校校長	
9	鈴木 芳夫	仙台市立台原中学校校長	
10	鎌田 鉄朗	宮城教育大学附属中学校副校長	
11	村上 善司	女川町教育委員会教育長	
12	猪股 亮文	仙台市教育局学校教育部教育指導課長	
13	長島 勝彦	宮城県仙台第二高等学校校長	
14	吉田 玲子	宮城県岩ヶ崎高等学校校長	
15	村上 礼子	仙台市立仙台高等学校校長	
16	小林 裕介	宮城県総合教育センター所長	

(教育庁)

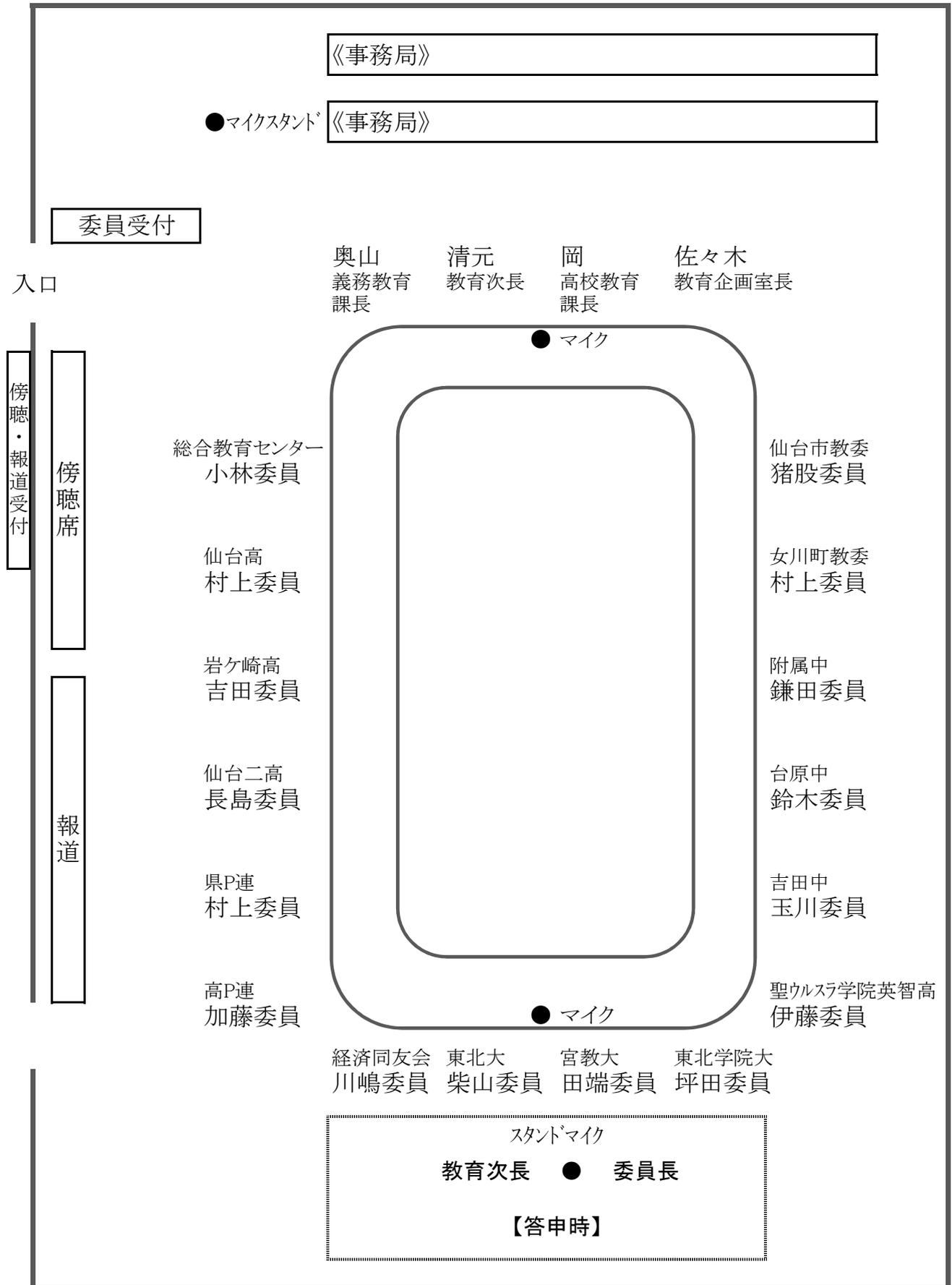
教育委員会	教育長	高橋 仁
	理事兼教育次長	西村 晃一
	教育次長	清元けい子
教育企画室	室長	佐々木 真
	教育改革班室長補佐兼企画員	西城 昭子
教職員課	県立学校人事班課長補佐	樽野 幸義
義務教育課	課長	奥山 勉
	指導班副参事	川田智佳子
高校教育課	参事兼課長	岡 邦広
	副参事兼課長補佐	佐藤 淳
	副参事兼課長補佐	千葉 胤継
	教育指導班課長補佐	遠藤 秀樹
	教育指導班主幹	菅原 紀子
	〃 主幹	遠藤 薫
	〃 主幹	櫻井 知大
	〃 主幹	大澤 健史
	〃 主幹	鈴木 歩
	〃 主幹	上遠野裕子
	〃 主任主査	佐々木久晴

(仙台市教育局)

学校教育部	高校教育課	課長	佐藤 義行
	〃	指導主事	西城 光洋

平成29年度 第2回高等学校入学者選抜審議会 座席図

行政庁舎11階 第二会議室



審議関係資料

	ページ
1 諮問文(写し)	(1)
(別紙1) 選抜方針について	(2)
(別紙2) 選抜日程について	(4)
2 第1回審議会における主な意見等	(5)
3 平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜方針及び日程について	
(1) 選抜方針について	
・平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について	(6)
(2) 選抜日程について	
・平成21年度～平成30年度高等学校入学者選抜の推移	(6)
・平成31年度の入学者選抜日程のシミュレーション	(7)



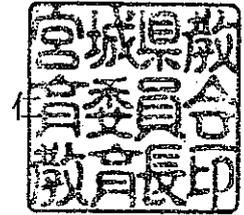
高 第 3 2 5 号

平成29年7月27日

高等学校入学者選抜審議会委員長 殿

宮城県教育委員会

教育長 高 橋



宮城県立高等学校入学者選抜について（諮問）

このことについて、高等学校入学者選抜審議会条例第1条の規定により、下記事項について諮問します。

記

- 1 平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について（別紙1）
- 2 平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について（別紙2）

平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜方針

宮城県立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 各高等学校長は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあっては調査書等作成のための委員会を、高等学校にあっては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 前期選抜

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、前期選抜を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類、学校独自検査の結果及び学力検査の結果に基づいて総合的に審査するものとする。各高等学校は、学校独自検査及び学力検査の満点及び総点を適宜定める。
- (2) 学校独自検査
学校独自検査は、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）及び作文等の中から一つ以上実施する。
- (3) 学力検査
イ 学力検査の実施教科は、国語、数学及び英語とする。
ロ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

3 後期選抜

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、後期選抜を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類及び学力検査の結果に基づいて総合的に審査するものとする。
この場合、次のイ～ハのいずれか一つ又は複数を実施して、その結果を選抜の資料に加えることができる。また、必要に応じて、イ～ハ以外の資料を加えることができる。
イ 面接
ロ 実技（体育及び美術に関する学科の場合）
ハ 一部教科の得点を倍にする等の傾斜配点

(2) 学力検査

イ 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

ロ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

4 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

5 連携型中高一貫教育に関する選抜

連携型中高一貫教育を実施する高等学校は、連携型中高一貫教育を実施する中学校の卒業生を対象とした選抜を実施する。選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類、学力検査（前期選抜に準じる。）及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

6 社会人特別選抜

定時制課程の学科においては、前期選抜において社会人を対象とした選抜を行うことができる。当該高等学校長は、学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

7 通信制課程に関する選抜

当該高等学校長は上記によらず、選抜を行うことができるものとする。

平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜日程

前期選抜・連携型中高一貫教育に関する選抜

実施日 平成31年 1月31日(木)

合格発表日 平成31年 2月 8日(金)

後期選抜

実施日 平成31年 3月 6日(水)

合格発表日 平成31年 3月14日(木)

2 第1回審議会における主な意見等

【審議】平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜方針及び日程について

- 私学の二次手続きが完了した者は、第二次募集の出願はできないということを確認していただきたい。

- 平成31年度のセンター試験の日程は1月19日、20日となっている。案1、案2は、私学の高等学校にとっては、入試業務をする時期ではない。ここに入られると、私学の入試はその前の週、1月14日からの週になってしまう。これは中学校現場を混乱させるだけである。よって、案1、案2は平成31年度の入試日程には相応しくない。

- 受験生である中学生の日程を第一優先という事で検討を進めている。センター試験の話もあったが、それ以外にも在校生の年度末の日程にも配慮する必要がある。そのような観点に立った時に、案2の妥当性は高いものであり、受験生への配慮と在校生への配慮という事を考えた時に、妥当なものであるという事で提案をしている。

- 入学試験は安全安心、全校挙げての業務である。私学にとっては、命である。従って、この日程は、カレンダーの巡り合わせが悪かったという事で我慢しようという事ではない。1月19日、20日にセンター試験が終わった後、その結果を待って、最後の進路指導が行われる大切な時である。

3 平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜方針及び日程について

(1) 選抜方針について

- ・平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜方針
(審議関係資料 2, 3 ページ (別紙1) 参照)
- ・平成30年度宮城県立高等学校入学者選抜方針から 一部文言の整理を行った

(2) 選抜日程について

イ 平成21年度～平成30年度高等学校入学者選抜日程の推移

入試年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
入試制度					前期選抜・後期選抜・第二次募集						
推薦入学・前期選抜 出願者受付	1.14～22	1.13～22	1.13～21	1.16～23	1.11～16	1.14～17	1.13～16	1.12～15	1.10～13	1.9～12	
推薦入学出願者の面接等	1.30(金)	1.29(金)	1.31(月)	1.31(火)							
(私立高入試A日程)	2.2(月)	2.1(月)	2.1(火)	2.1(水)	1.28(月)	1.29(水)	1.28(水)	1.27(水)	1.25(水)	1.24(水)	
(私立高入試B日程)	2.4(水)	2.3(水)	2.3(木)	2.3(金)	1.30(水)	1.31(金)	1.30(金)	1.29(金)	1.27(金)	1.26(金)	
前期選抜実施日					2.1(金)	2.4(火)	2.3(火)	2.3(水)	2.1(水)	1.31(水)	
推薦入学結果通知 前期合格発表	2.6(金)	2.5(金)	2.7(月)	2.7(火)	2.12(火)	2.12(水)	2.10(火)	2.12(金)	2.9(木)	2.8(木)	
出願受付	2.16～23	2.15～23	2.16～24	2.16～23	2.20～25	2.20～25	2.19～24	2.23～26	2.21～24	2.19～22	
学力検査	3.5(木)	3.4(木)	3.9(水)	3.8(木)	3.7(木)	3.6(木)	3.5(木)	3.9(水)	3.8(水)	3.6(火)	
合格者の発表	3.11(水)	3.10(水)	3.15(火)	3.14(水)	3.13(水)	3.12(水)	3.12(木)	3.16(水)	3.16(木)	3.14(水)	
第二次募集出願受付	3.12～17	3.11～16	3.16～18	3.15～19	3.14～18	3.13～17	3.13～17	3.17～18	3.17～21	3.15～19	
第二次募集実施日 ・合格発表	3.18～19	3.17～18	3.22～23	3.21～22	3.21～22	3.19～20	3.19～20	3.23～24	3.22～23	3.20 又は22	

※ 平成31年カレンダー

1 月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

ロ 平成31年度入学者選抜日程のシミュレーション

○:実施日
 △:合格発表日
 出:出願期間
 前:前期
 後:後期
 二次:二次募集
 A:私学A日程
 B:私学B日程
 卒:公立高校卒業式

	平成29年	平成30年	平成31年			
			案1	案2	案3	案4
金	1月20 前出10~	1月19	1月18	1月18	1月18	1月18
土	21	20	19 センター試験	19 センター試験	19 センター試験	19 センター試験
日	22	21	20 センター試験	20 センター試験	20 センター試験	20 センター試験
月	23	22	21	21	21	21
火	24	23	22	22	22	22
水	25 A	24 A	23	23	23	23
木	26	25	24	24	24	24
金	27 B	26 B	25	25	25	25
土	28	27	26	26	26	26
日	29	28	27	27	27	27
月	30	29	28	28	28	28
火	31	30	29	29	29	29
水	2月1 前○	31 前○	30 前○	30 前○	30	30
木	2	2月1	31	31 前○	31	31
金	3	2	2月1	2月1 前○	2月1	2月1
土	4	3	2	2	2	2
日	5 日	4	3	3	3	3
月	6	5	4	4	4 前○	4
火	7	6	5	5	5	5 前○
水	8	7	6	6	6	6
木	9 前△	8 前△	7 前△	7 前△	7	7
金	10	9	8 前△	8 前△	8	8
土	11	10	9	9	9	9
日	12	11	10	10	10	10
月	13	12	11	11	11	11
火	14	13	12	12	12 前△	12
水	15	14	13	13	13	13
木	16	15	14	14	14 前△	14 前△
金	17	16	15	15	15	15
土	18	17	16	16	16	16
日	19	18	17	17	17	17
月	20 後出	19 後出	18 後出	18 後出	18	18
火	21 後出	20 後出	19 後出	19 後出	19	19
水	22 後出	21 後出	20 後出	20 後出	20	20
木	23 後出	22 後出	21 後出	21 後出	21	21
金	24	23	22	22	22 後出	22
土	25	24	23	23	23	23
日	26	25	24	24	24	24
月	27	26	25	25	25 後出	25 後出
火	28	27	26	26	26 後出	26 後出
水	3月1 卒	28	27	27	27 後出	27 後出
木	2	3月1 卒	28	28	28	28
金	3	2	3月1 卒	3月1 卒	3月1 卒	3月1 卒
土	4	3	2	2	2	2
日	5	4	3	3	3	3
月	6	5	4	4	4	4
火	7	6 後○	5	5	5	5 後○
水	8 後○	7	6 後○	6 後○	6 後○	6 後○
木	9	8	7	7	7	7
金	10	9	8	8	8	8
土	11 鎮魂	10 鎮魂	9	9	9	9
日	12	11 鎮魂	10	10 鎮魂	10 鎮魂	10 鎮魂
月	13	12	11 鎮魂	11 鎮魂	11 鎮魂	11 鎮魂
火	14	13	12	12	12	12
水	15 後△	14 後△	13	13	13	13 後△
木	16 二出	15 二出	14 後△	14 後△	14 後△	14 二出
金	17 二出	16 二出	15 二出	15 二出	15 二出	15 二出
土	18	17	16	16	16	16
日	19	18	17	17	17	17
月	20	19 二出	18 二出	18 二出	18 二出	18 二出
火	21 二出	20 二次○△	19 二次○△	19 二次○△	19 二次○△	19 二次○△
水	22 二次○△	21	20 二次△	20 二次△	20 二次△	20 二次△
木	23 二次△	22 二次△	21	21	21	21
金	24	23	22	22	22	22
土	25	24	23	23	23	23
日	26	25	24	24	24	24
月	27	26	25	25	25	25
火	28	27	26	26	26	26
水	29	28	27	27	27	27
木	30	29	28	28	28	28
金	31	30	29	29	29	29
土		31	30	30	30	30

報告関係資料

	ページ
1 平成30年度宮城県公立高等学校入学者選抜について・・・	(1)
2 新しい県立高校入学者選抜制度（案）について	
(1) 第1回審議会における主な意見等・・・	(2)
(2) 新しい県立高等学校入学者選抜検討小委員会について・・・	(3)
イ 調査研究の目的・・・	(3)
ロ 専門委員名簿・・・	(3)
ハ 審議の経過・・・	(3)
(3) 新しい県立高校入学者選抜制度（案）について・・・	(4)
・ 調査書の様式例・・・	(8)
・ 求める生徒像（例）・・・	(9)
・ 平成32年度入学者選抜日程のシミュレーション・・・	(11)
・ 今後のスケジュール・・・	(12)

1 平成30年度公立高等学校入学者選抜について

事 項		期 日	
募 集 定 員 公 表		平成29年7月4日(火)	
入 学 者 選 抜 一 覧 公 表		平成29年7月4日(火)	
第 1 回 志 願 者 予 備 調 査		平成29年11月1日(水)から11月6日(月)まで	
第 2 回 志 願 者 予 備 調 査		平成30年1月4日(木)から1月5日(金)まで	
前 期 選 抜 連 携 型 選 抜	出 願 受 付	平成30年1月9日(火)から1月12日(金)まで	
	出 願 書 類 受 領 書	平成30年1月9日(火)から1月12日(金)まで	
	受 験 票 等 送 付 一 覧	平成30年1月18日(木)	
社 会 人 特 別 選 抜	学 力 検 査 等	平成30年1月31日(水)	
	結 果 通 知	平成30年2月8日(木)	
	合 格 者 の 発 表		
後 期 選 抜	出 願 受 付	平成30年2月19日(月)から2月22日(木)まで	
	学 力 検 査	平成30年3月6日(火)	
	合 格 者 の 発 表	平成30年3月14日(水)	
第 二 次 募 集	出 願 受 付	平成30年3月15日(木)から3月19日(月)まで	
	学 力 検 査 等	平成30年3月20日(火)	
	合 格 者 の 発 表	平成30年3月20日(火)又は3月22日(木)	
通 信 制 課 程	一 期 入 学 者 選 抜	出 願 受 付	平成30年3月11日(日)から3月16日(金)まで
		合 格 通 知	平成30年3月24日(土)に郵便で発送
	二 期 入 学 者 選 抜	出 願 受 付	平成30年9月3日(月)から9月7日(金)まで
		合 格 通 知	平成30年9月14日(金)に郵便で発送

2 新しい県立高校入学者選抜制度について

(1) 第1回審議会における主な意見等

【報告】新しい県立高等学校入学者選抜（中間案）について

1 共通選抜と特色選抜について

(1) 各選抜の募集割合について

- ・ 現行前期選抜が普通科10%～30%、専門学科等が40%まで、体育、美術学科が70%までである。普通科の学校においては、特色を示すことが難しい。下限は10%で良いと思う。一方で、割合の拡大を希望する声も聞こえる。特色選抜における普通科の上限は50%でも良いと思う。その範囲内で、各高校が判断することになる。
- ・ 専門学科においては、志を持った生徒に入学して欲しい。体育、美術の実技系学科だけではなくて、その他の専門学科においても割合を広げて欲しい。普通科において割合を広げることとは違う。各高校に割合を決定することがゆだねられる。特色というのは、中学生の特色ではなくて、学校の特色は何かということをも明確に持つということである。各高校が覚悟を持って決めなければならない。

(2) 選抜順序について

- ・ 特になし

(3) 各高校の判断により、募集人数の割合、選抜順序等を設定することについて

- ・ 特になし

2 特色選抜の学力検査点、調査書点について

学力検査点、調査書点の換算率について

- ・ 高校が特色を前面に出して欲しい。生徒に対して、かける2.0とか、1.5とか、なぜそうなるのかの説明が難しい。換算率の導入は必要だが、生徒にとっては、シンプルな分かりやすい説明が欲しい。生徒の立場を尊重して欲しい。現在の中学1年生が3年生になるときの入試なので、高校は特色を分かりやすく示して、生徒に分かりやすくして欲しい。
- ・ これから高校で議論が進む。換算率は高校からのストレートなメッセージになる。高校はしっかりと説明をしなければならない。筆記試験、調査書それぞれ換算されるが、5教科だけ、実技だけを評価するということもあるのだろう。換算率上限の歯止めをかけなければ、点数はさまざまになる。
- ・ 高校がその特色に応じて換算率を設定することが、大事である。ただし、無制限にはできないので、上限、下限を設定し、その中で各高校が決めることになる。
- ・ 学力検査点と調査書点の換算率は各高校が特色に応じて設定し、換算率の範囲は県が設定するという解釈で良いか。

3 予備登録について

- ・ 事情があり予備登録をしていなくても、受験はできるようにしてもらいたい。
- ・ 予備登録で受験生は動く。初年度は動向が読みづらい。妥当な数値で動向が読めるような予備登録率にする必要がある。また、予備登録後に高倍率になる高校が出てくる可能性もある。そうならない工夫が必要である。

(2) 新しい県立高等学校入学者選抜検討小委員会について

イ 調査研究の目的

平成29年3月14日に高等学校入学者選抜審議会から答申のあった「今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について」の事項を、新しい県立高等学校入学者選抜制度として専門的に調査研究することを目的とする。

ロ 専門委員名簿

No.	氏名	現職	備考
1	田端 健人 <small>たばた たけと</small>	宮城教育大学教育学部教授	入選審委員
2	村上 裕子 <small>むらかみ ゆうこ</small>	宮城県PTA連合会副会長	入選審委員
3	鈴木 芳夫 <small>すずき よしお</small>	仙台市立台原中学校校長	入選審委員
4	小林 裕介 <small>こばやし ゆうすけ</small>	宮城県総合教育センター所長	入選審委員
5	遠山 勝治 <small>とおやま かつはる</small>	塩竈市教育委員会学校教育課長	
6	猪股 智秋 <small>いのまた ちあき</small>	美里町立南郷中学校教頭	
7	岩井 誠 <small>いらい まこと</small>	宮城県田尻さくら高等学校教頭	
8	高橋 琢哉 <small>たかはし たくや</small>	仙台教育事務所副参事	

ハ 審議の経過

(イ) 第1回新しい県立高等学校入学者選抜検討小委員会

日時 平成29年7月7日(金) 9:30~11:30

場所 県庁11階 第二会議室

内容 報告 ・ 平成29年度宮城県公立高等学校入学者選抜結果について
・ 平成30年度宮城県公立高等学校入学者選抜について
・ 新しい県立高等学校入学者選抜(中間案)について

(ロ) 第2回新しい県立高等学校入学者選抜検討小委員会

日時 平成29年9月15日(金) 10:00~12:00

場所 県庁11階 第二会議室

内容 報告 ・ 新しい県立高校入学者選抜制度について

(ハ) 第3回新しい県立高等学校入学者選抜検討小委員会

日時 平成29年10月24日 10:00~12:00

場所 県庁18階 1802会議室

内容 報告 ・ 新しい県立高校入学者選抜制度について

(3) 新しい県立高校入学者選抜制度(案)について

1 (仮称) 第一次募集について

(1) 出願について

イ 中学校又はこれに準ずる学校を卒業又は卒業見込みの者は、希望する高校に出願することができる。

ロ 出願できる高等学校は、一人1校とし、課程及び学科・コースについては一つに限る。ただし、複数の学科・コースを併置する高等学校にあっては、当該校の他の学科・コースを第2志望とすることができることとし、第2志望を認める学科・コースについては、別に公表する。

ハ 出願に当たっては、志願理由書の提出は求めない。

(2) 学力検査の実施について

イ 受験者全員に対して、5教科の学力検査を実施する。

ロ 実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

ハ 実施時間は、各教科50分とする。

(3) 面接・実技・作文等の実施について

各高等学校は必要に応じて、面接、実技(体育及び美術に関する学科の場合)、作文等の中から、各高等学校の特色に応じて、一つ又は複数の検査を実施することができる。

(4) 選抜について

イ 受験生全員を(仮称)共通選抜及び(仮称)特色選抜の対象とし、2つの選抜の選抜順序、募集割合、選抜資料の配点等については、各高等学校が定め、あらかじめ公表する。

ロ 共通選抜について

(イ) 共通選抜は、学力検査の結果及び調査書に基づいて選抜する。

(ロ) 国語，社会，数学，理科及び英語の5教科の学力検査（500点満点）の結果及び調査書（195点満点）を選抜資料の基本とする。

(ハ) 体育及び美術に関する学科にあっては、実技の評価を選抜資料に加えることができる。

(ニ) 各高等学校は、調査書点と学力検査点の満点を原点とした相関図表を用いて選抜する。このとき、あらかじめ届け出た、調査書点と学力検査点の比重に基づき、その両方の満点により近い者を上位とし、上位のものから審査し、選抜する。

ハ 特色選抜について

(イ) 特色選抜は、受験生のもつ多様な資質・能力，適性，意欲等を適切に評価するため、各高等学校及び学科等の特色に応じて選抜資料の配点等を共通選抜と別に定めるなどして、各高等学校及び学科等の求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。

(ロ) 各高等学校は必要に応じて面接，実技，作文等の評価を選抜資料に加えることができる。

(ハ) 学力検査点（500点満点）は、各教科の学力検査の得点を換算率0.25～2.0倍により算出して得られた点数を合計したものとする。

(ニ) 調査書点（195点満点）は、各教科・学年の評定を換算率0.25～2.0倍により算出して得られた値を合計したものとする。ただし、不登校生徒等を積極的に受け入れる学校においては、0.25未満の換算率とすることができる。

(ホ) 審査対象は、学力検査点、調査書点及び面接・実技・作文等の得点の合計点上位の者から、特色選抜募集人数の120～200%の範囲に含まれる者とする。

(へ) 選抜は学力検査点、調査書点及び面接・実技・作文等の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて総合的な審査により行う。

(5) 共通選抜と特色選抜の募集割合について

特色選抜の募集人数は、募集定員の10～50%の範囲内で、各高等学校・学科の特色に応じて設定する。ただし、体育及び美術に関する学科並びに定時制課程にあっては募集定員の10～90%の範囲内で設定する。

(6) 合格者の発表について

共通選抜と特色選抜の区別なく、合格者を発表する。

2 連携型中高一貫教育に関する選抜について

連携型高等学校は、連携型中学校からの志願者を対象とした連携型選抜を実施する。調査書、学力検査及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

3 社会人特別選抜について

定時制課程の学科においては、社会人を対象とした選抜を行うことができる。学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

4 通信制課程に関する選抜について

上記によらず、選抜を行うことができるものとする。

5 追試験について

- (1) 第一次募集検査日当日，病気，交通事故，その他のやむを得ない事由によって受験できなくなった者で，所定の手続きを経た者は追試験を受験することができる。
- (2) 追試験は第一次募集検査実施後合格発表までの期間に第一次募集と同じ方法で実施し，合格者の発表については，第一次募集の合格発表と同時に行う。

6 第二次募集について

- (1) 第一次募集の合格発表の時点で募集定員が満たされていない高等学校の課程，学科・コースについては，第二次募集を行うものとする。
- (2) 選抜は，調査書のみの審査，あるいは調査書に，第二次募集の学力検査，面接，実技（体育及び美術に関する学科の場合），作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた総合的な審査により行う。
- (3) 選抜資料の配点等については，各高等学校が定め，あらかじめ公表する。

7 調査書について

様式については別紙のとおりとする。

8 出願希望調査について

(1) 調査の実施

県内公立高等学校を志願する者について，希望する高等学校ごとに第1希望生徒数を調査する。出願希望できる高等学校は，一人1校とし，課程及び学科・コースについては一つに限る。

(2) 結果の公表

調査は1月中旬に実施し，県内公立高等学校ごとの出願希望者数を公表する。

9 導入時期

平成32年度入学者選抜から実施する。

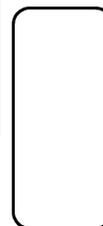
調査書の様式例

(平成32年度入学者選抜用)

調査書

調査書等作成委員会	
記載責任者印	

受験番号	※No.
------	------



ふりがな		性別	
氏名			
生年月日	平成 年 月 日生		
卒業年月	平成 年 月		

記載内容に誤りがないことを証明します。

平成 年 月 日

学 校 名

校 長 氏 名

印

1 各教科の学習の記録					
教科	学年	1	2	3	※
	国 語				
社 会					
数 学					
理 科					
外 国 語					
音 楽					
美 術					
保 健 体 育					
技 術 ・ 家 庭					

4 特別活動等の記録	
① 学級活動 ② 生徒会活動 ③ 学校行事 ④ その他	

2 総合的な学習の時間の記録	

5 スポーツ活動, 文化活動, 社会活動, ボランティア活動等の記録	

3 行動の記録			
基本的な生活習慣		思いやり・協力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自主・自律		勤 労 ・ 奉 仕	
責 任 感		公 正 ・ 公 平	
創 意 工 夫		公 共 心 ・ 公 徳 心	

6 欠席の状況			
学年	事項	欠席日数	事由
1			
2			
3			

7 特記事項(校外での活動を含む)	

※No.

求める生徒像(例)1

学校名	けやき高等学校	課程	全日制	学科	普通科	募集定員	280人
求める生徒像							
<p>本校では、校風である「自由と進歩」、「自主・自律」を体現する主体的で創造的な生徒の育成に努めています。また、豊かな知性と教養、健やかな精神、思考力と判断力を有する生徒の育成に努めています。</p> <p>そこで、勉学、部活動、特別活動等に積極的にに関わり、自己実現しようとする意欲があり、次の全ての要件を満たす生徒を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の校風に共感し、勉学に向上心を持って取り組むことができる生徒 2 本校の一員として自己の責任を果たすとともに、互いの立場を考え、他者とのコミュニケーションを取ることができる生徒 3 部活動や特別活動等でリーダーシップを発揮し、積極的に活動する意欲のある生徒 <p>特に、特色選抜においては、次の要件を満たす生徒を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 高い学力を有し、特に国語・数学・英語の成績に秀でている生徒 5 部活動、特別活動、校外活動で優れた能力や顕著な実績があり、入学後も継続して活動する意欲のある生徒 							
第一次募集（選抜方法等）							
選抜順序	共通選抜 特色選抜			作文・面接・実技等			
共通選抜（募集定員の90% 252人）				なし			
調査書:学力検査	3:7	第2志望とすることができる学科		<p>国語、数学、英語、社会、理科の5教科の学力検査(500点満点)の結果及び調査書(195点満点)を選抜資料の基本とする。</p> <p>調査書点と学力検査点の満点を原点とした相関図表を用いて選抜する。このとき、調査書点と学力検査点の比重を3対7とし、その両方の満点により近い者を上位とする。</p> <p>上位の者から審査し、選抜する。</p>			
特色選抜（募集定員の10% 28人）							
<p>I 各選抜資料の配点 合計1040点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査書(教科の評定) 240点 国語、数学、英語の3年間の評定を各2倍とする。 2 学力検査 800点 国語、数学、英語の得点を各2倍とする。 3 面接 なし <p>II 選抜方法</p> <p>上記Iの資料を基に、本校の求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。審査対象は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜の募集人数の120%の範囲に含まれる者とする。選抜は、学力検査点、調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて総合的に審査し、選抜する。</p>							
第二次募集（選抜方法等）							
<p>I 各選抜資料の配点 合計495点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学力検査 300点 国語、数学、英語各100点 2 調査書(教科の評定) 195点 <p>II 選抜方法</p> <p>上記Iの資料を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、本校の求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。</p>				作文・面接・実技等			
				なし			

求める生徒像(例)2

学校名	けやき高等学校	課程	全日制	学科	普通科	募集定員	200人
求める生徒像							
<p>本校は、多様な進路希望を持った生徒の自己実現を可能にする学校です。基礎・基本の確実な定着を図り、学力の伸長を図るとともに、特別活動等への積極的参加を促すことによりバランスのとれた生徒の育成に努めています。</p> <p>また、保護者、地域社会から支持され信頼される開かれた学校です。</p> <p>豊かな人間性とたくましさを持ち、自主的・自律的・意欲的に生き生きと活動する、次の全ての要件を満たす生徒を求めます。</p>							
<ol style="list-style-type: none"> 1 本校で学ぼうとする理由が明確で、自主・自律の精神で、何事にも意欲的に取り組む生徒 2 基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力できる生徒 3 進学や就職の進路実現に向かって継続的に努力できる生徒 <p>特に、特色選抜においては、次の要件のいずれかを満たす生徒を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 何事にも真剣に取り組む、日々の授業を大事にする生徒 5 部活動、校外でのスポーツ活動・文化活動で優れた実績があり、入学後も継続して活動する意欲のある生徒 							
第一次募集（選抜方法等）							
選抜順序	特色選抜			共通選抜		作文・面接・実技等	
共通選抜（募集定員の70% 140人）							
調査書：学力検査	5：5	第2志望とすることが できる学科	理数科				
<p>国語、数学、英語、社会、理科の5教科の学力検査(500点満点)の結果及び調査書(195点満点)を選抜資料の基本とする。</p> <p>調査書点と学力検査点の満点を原点とした相関図表を用いて選抜する。このとき、調査書点と学力検査点の比重を5対5とし、その両方の満点により近い者を上位とする。</p> <p>上位の者から審査し、選抜する。</p>							
特色選抜（募集定員の30% 60人）							
<p>I 各選抜資料の配点 合計960点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査書(教科の評定) 260点 3学年の各教科の評定を各2倍とする。 2 学力検査 500点 3 面接 200点 <p>II 選抜方法</p> <p>上記Iの資料を基に、本校の求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。審査対象は、学力検査点、調査書点及び面接・実技・作文等の得点の合計点上位の者から、特色選抜の募集人数の200%の範囲に含まれる者とする。選抜は、学力検査点、調査書点及び面接・実技・作文等の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて総合的に審査し、選抜する。</p>							
第二次募集（選抜方法等）							
<p>I 各選抜資料の配点 合計395点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査書(教科の評定) 195点 2 面接 200点 <p>II 選抜方法</p> <p>上記Iの資料を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、本校の求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。</p>							
作文・面接・実技等							
<p>I 面接</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 形態 個人面接 2 時間 1人10分程度 3 内容 一般入試と同様 4 観点 一般入試と同様 							

平成32年度入学者選抜日程のシミュレーション

	平成29年	平成30年	平成32年		
			案1	案2	案3
月	16	15	13	13	13
火	17	16	14	14	14
水	18	17	15 出願希望調査	15 出願希望調査	15 出願希望調査
木	19	18	16 出願希望調査	16 出願希望調査	16 出願希望調査
金	20	19	17 出願希望調査	17 出願希望調査	17 出願希望調査
土	21	20	18	18	18
日	22	21	19	19	19
月	23	22	20	20	20
火	24	23	21	21	21
水	25	24	22	22	22
木	26	25	23	23	23
金	27	26	24	24	24
土	28	27	25	25	25
日	29	28	26	26	26
月	30	29	27	27	27
火	31	30	28	28	28
水	2月1 前期学力検査日	31 前期学力検査日	29	29	29
木	2	2月1	30	30	30
金	3	2	31	31	31
土	4	3	2月1	2月1	2月1
日	5	4	2	2	2
月	6	5	3	3	3
火	7	6	4	4	4
水	8	7	5	5	5
木	9 前期合格発表	8 前期合格発表	6	6	6
金	10	9	7	7	7
土	11	10	8	8	8
日	12	11	9	9	9
月	13	12	10	10	10
火	14	13	11	11	11
水	15	14	12	12	12
木	16	15	13	13	13
金	17	16	14	14	14
土	18	17	15	15	15
日	19	18	16	16	16
月	20	19 後期出願	17	17 一次出願	17 一次出願
火	21 後期出願	20 後期出願	18 一次出願	18 一次出願	18 一次出願
水	22 後期出願	21 後期出願	19 一次出願	19 一次出願	19 一次出願
木	23 後期出願	22 後期出願	20 一次出願	20 一次出願	20 一次出願
金	24 後期出願	23	21 一次出願	21	21
土	25	24	22	22	22
日	26	25	23	23	23
月	27	26	24	24	24
火	28	27	25	25	25
水	3月1 卒業式	28	26	26	26
木	2	3月1 卒業式	27	27	27
金	3	2	28	28	28
土	4	3	29	29	29
日	5	4	3月1 卒業式	3月1 卒業式	3月1 卒業式
月	6	5	2	2	2
火	7	6 後期学力検査日	3	3 一次学力検査日	3 一次学力検査日
水	8 後期学力検査日	7	4 一次学力検査日	4 一次面接等	4 一次面接等
木	9	8	5 一次面接等	5	5
金	10	9	6	6 追試験	6
土	11 鎮魂	10	7	7	7
日	12	11 鎮魂	8	8	8
月	13	12	9 追試験	9	9
火	14	13	10	10	10 追試験
水	15	14 後期合格発表	11 鎮魂	11 鎮魂	11 鎮魂
木	16 後期合格発表	15 二次出願	12	12	12
金	17 二次出願	16 二次出願	13 中卒業式	13 中卒業式	13 中卒業式
土	18	17	14	14	14
日	19	18	15	15	15
月	20	19 二次出願	16	16	16
火	21 二次出願	20 二次実施合格発表	17 一次合格発表	17 一次合格発表	17 一次合格発表
水	22 二次実施合格発表	21	18 二次出願	18 二次出願	18 二次出願
木	23 二次合格発表	22 二次合格発表	19 二次出願	19 二次出願	19 二次出願
金	24	23	20	20	20
土	25	24	21	21	21
日	26	25	22	22	22
月	27	26	23 二次実施合格発表	23 二次実施合格発表	23 二次実施合格発表
火	28	27	24 二次合格発表	24 二次合格発表	24 二次合格発表
水	29	28	25	25	25

今後のスケジュール(予定)

年度	月	
平成 29 年度	12	平成29年末まで 新入試制度の決定・公表
平成 30 年度	秋	平成30年秋 求める生徒像・選抜方法等概要の公表
平成 31 年度	7	平成32年度入学者選抜 求める生徒像・選抜方法等一覧の公表
	10	平成32年度入学者選抜要項の公表
	3	平成32年3月 新入試制度の実施

平成30年度

宮城県立高等学校入学者選抜方針
仙台市立高等学校入学者選抜方針
石巻市立高等学校入学者選抜方針
宮城県公立高等学校入学者選抜要項

出願書類

予備調査までの流れ

入試のフロー図

地区処理委員会

各種様式一覧

県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて

県立高等学校の通学区域に関する規則（抄）

仙台市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）

石巻市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）

東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置

宮城県教育委員会

仙台市教育委員会

石巻市教育委員会